

2022年10月31日

各位

会社名 パナソニック ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役 社長執行役員 楠見 雄規  
(コード番号 6752 東証プライム・名証プレミア)  
問合せ先 財務・IR部長 和仁古 明  
(TEL. 06-6908-1121)

(開示事項の経過) 米国 車載電池新工場建設の決定について

当社は、2022年7月14日付けプレスリリース「米国 車載電池工場建設計画における投資誘致補助金制度の承認について」にて、「パナソニック エナジー株式会社による車載用リチウムイオン電池の製造工場の建設は、当社取締役会の承認を経ることが条件となっています」としておりました。このたび、本日開催の取締役会において、車載用リチウムイオン電池の新工場を建設することを決議しましたので、お知らせします。

本件につき、当社の連結子会社であるパナソニック エナジー株式会社が本日発表したプレスリリースを添付しています。なお、本件による当社の2023年3月期連結業績予想(2022年10月31日公表)への重要な影響はありません。

添付資料：「北米での車載電池生産増強に向けた米国カンザス州における車載電池新工場建設の決定について」

以上

2022年10月31日

## 北米での車載電池生産増強に向けた 米国カンザス州における車載電池新工場建設の決定について

パナソニック エナジー株式会社（本社：大阪府守口市、代表取締役 社長執行役員：只信 一生、以下、当社）は、かねてより検討を進めている米国カンザス州において、車載用円筒形リチウムイオン電池の新工場を建設することを正式に決定しました。2022年11月より工場建設を開始し、2024年度中の生産開始を目指します。この工場は、ネバダ州に続く当社の米国における車載電池の第2工場となる予定です。



世界的に電気自動車（EV）シフトが加速するなか、車載電池への需要に対応するため、当社は北米での車載電池の供給体制の強化に向けて検討を進めています。その一環として、カンザス州デソトに新しい製造工場を建設し、足元でお客様から需要が高い既存の車載用円筒形リチウムイオン電池「2170」の生産体制を増強します。量産時期は2024年度中を目指しており、新工場の初期の生産能力は30GWh程度を予定しています。今後も継続して北米における車載用円筒形リチウムイオン電池のラインナップ強化と生産能力の拡大を目指します。

当社は、優れた技術と豊富な経験によりリチウムイオン電池業界の成長を牽引し、将来的なゼロエミッションの実現に向けた取り組みを加速するとともに、ミッションである「幸せの追求と持続可能な環境が矛盾なく調和した社会」の実現に向けて取り組んでいきます。

以 上